

# 消費者のための 防災教育セミナー

2017年度  
地域防災力向上  
取り組み  
in  
北海道

- 日時** 2018年2月9日(金) 10:00~12:10  
**会場** 北海道立消費生活センター 暮らしの教室2階  
**参加者数** 34名  
**主催等** (主催)北海道消費者協会、日本損害保険協会北海道支部  
 (協力)札幌防災協会  
 ■ 当日、会場後方に防災グッズを展示した。

## 講演

### 1 「災害発生時における対処の仕方と防災知識～身近な物で防災グッズを作ってみよう」

**講師** 加藤 真奈美氏(防災教育アドバイザー 気象予報士)

**概要** 北海道における天気予報的中率や屋根の雪の重さに関する「お天気クイズ」が出題されたほか、身近な物で作れる防災グッズとして、新聞紙のスリッパとキッチンペーパーのマスクの作り方について紹介があった。「気象の変化は天気予報で事前に情報を確認できるが、地震災害は突発的に発生し、予期できないので日頃の準備が大切になる。今回紹介した防災グッズは家族や周りの方にも伝えてほしい」とのメッセージがあった。



講演の様子(加藤氏)



会場の様子



防災グッズ作りの様子

### 2 「知っておきたい自然災害・地震災害に備える保険について」

**講師** 上木 英正氏(日本損害保険協会北海道支部 専任講師)

**概要** 自然災害への経済的な備えとなる損害保険として、火災保険と地震保険について説明があった。「火災保険では一般的に火災のほか、風災、雪災、水災などの自然災害による損害を補償するが、地震、噴火、津波による損害は対象外となるため、地震保険で備える必要がある。自然災害・地震災害は思いがけないタイミングで発生するので、今回のセミナーを機に改めて契約内容を確認し、備えてほしい」とのメッセージがあった。



講演の様子(上木氏)